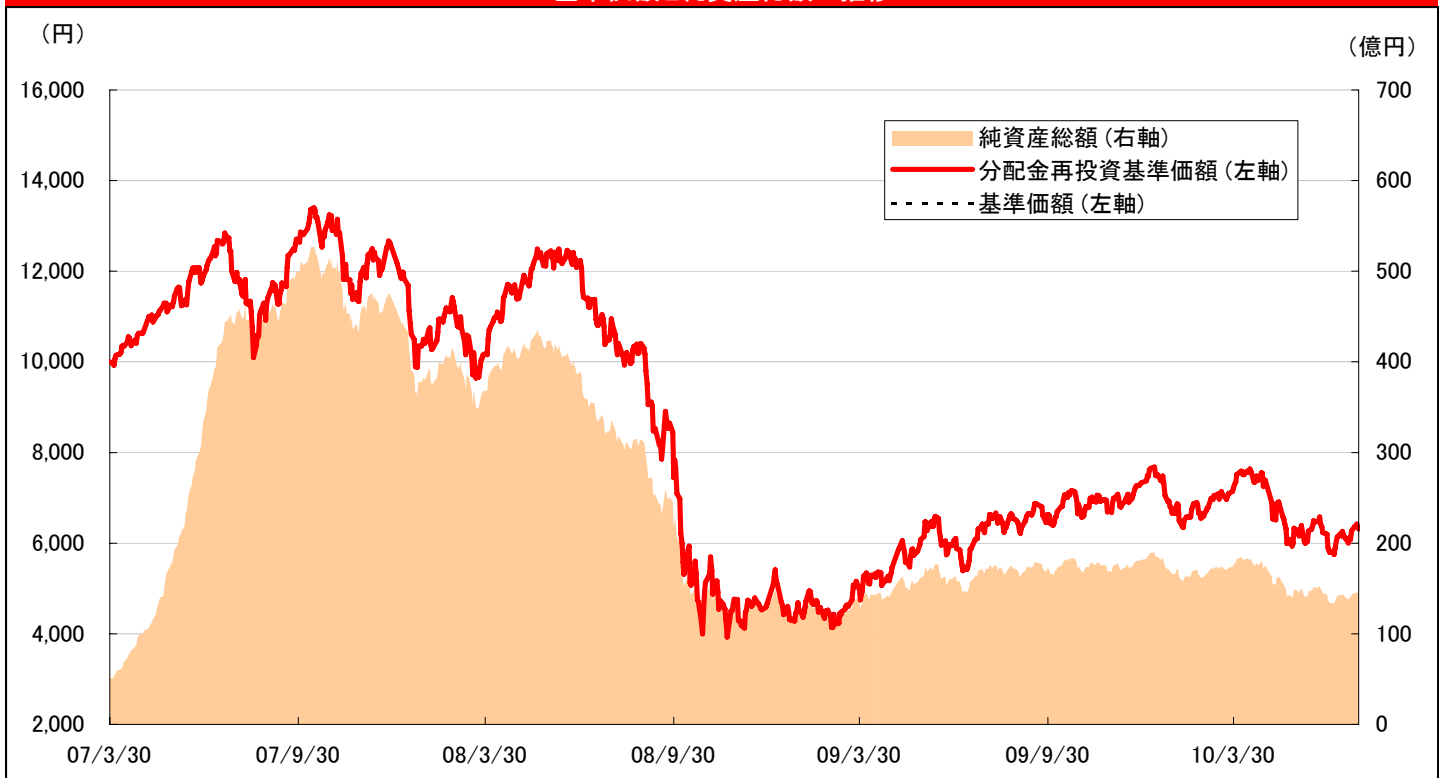


# HSBC 世界資源エネルギーオープン

## 追加型投信/内外/株式

### 基準価額と純資産総額の推移



\* 基準価額は信託報酬(税込年1.995%)控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金の金額は、運用状況によって変化します。

### 商品概要

商品分類	追加型投信/内外/株式
設定日	2007年3月30日
信託期間	無期限
決算日	原則、3月29日/年1回決算

### 基準価額等 (2010年7月30日現在)

1万口当たり基準価額(円)	6,309
設定来高値(2007年10月15日)	13,401
設定来安値(2008年11月21日)	3,931
純資産総額(億円)	143.2

\* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

### 信託財産の構成 (2010年7月30日現在)

HSBC 世界資源エネルギーマザーファンド受益証券	100%
キャッシュ等	0%
合計	100%

\* 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

### 期間別騰落率(税引前)

1ヶ月	7.0%
3ヶ月	-14.6%
6ヶ月	-5.3%
12ヶ月	-1.8%
36ヶ月	-47.2%
設定来	-36.9%

\* 基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したもとして計算しています。

### 税引前分配金の推移(1万口当たり)

決算期	分配金(円)
第1期(08年3月31日)	0
第2期(09年3月30日)	0
第3期(10年3月29日)	0
-	-
-	-
設定来累計	0

\* 将来の分配金の金額は、運用状況によって変化します。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

## HSBC 世界資源エネルギーオープン

追加型投信/内外/株式

## 組入株式上位銘柄 (2010年7月30日現在)

順位	銘柄名	国名	業種	組入比率(%)
1	BHP ビリトン	英/豪	資源	2.7%
		石炭、鉄鉱石、金、チタニウム等の鉱石探査と生産、及び石油探査、生産、精製を主要事業とする国際的な資源関連会社。		
2	エクソン・モービル	米国	エネルギー	2.7%
		大手石油会社、世界規模の石油・ガスの探査・生産。		
3	リオ・ティント	英/豪	資源	2.7%
		国際的な、鉱山会社。鉄鉱石、石炭、銅、金、ダイヤモンド等の採鉱権を所有する。		
4	ロイヤル・ダッチ・シェル	英/蘭	エネルギー	2.5%
		石油を中心に探査、生産、輸送、精製、販売まで手がけるヨーロッパ最大のエネルギー企業。		
5	アングロ・アメリカン	英国	資源	2.3%
		世界的に事業を展開する総合鉱山資源会社。		
6	トタル	フランス	エネルギー	2.2%
		石油および天然ガスの探査、生産、精製、輸送、販売を手がけ、ポリプロピレン等を製造する化学品部門も併設。		
7	コノコ・フィリップス	米国	エネルギー	2.1%
		国際的総合エネルギー会社。石油の探査、生産、精製、販売、供給、輸送を手がけ、天然ガス事業にも従事。		
8	ヴァリ (旧リオドセ) PN	ブラジル	資源	2.1%
		総合資源開発会社、主力分野の鉄鉱石の産出では世界一。		
9	イーオン	ドイツ	公益	1.9%
		工業、商業、住宅を対象に発電・配電、ガス、地域暖房、飲料用水を供給。欧州、北米、中南米、アジアで事業を展開。		
10	オキシデンタル・ペトロリアム	米国	エネルギー	1.8%
		原油、天然ガスの採取、開発、生産を手がける。		
組入銘柄数				74

\* マザーファンドの組入比率です。業種は、運用を担当するシノビア・アセット・マネジメントが運用方針に基づき独自に分類したものです。

\* 銘柄名は、情報サービス業者の表記を参考にHSBC投信が翻訳したものであり、発行体の公式な和文名称と異なる場合があります。

## 設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

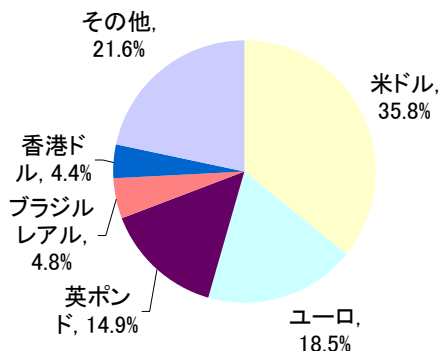
## ポートフォリオの組入比率 (2010年7月30日現在)

## 地域別組入比率

アジア太平洋	16.0%
東ヨーロッパ	2.1%
西ヨーロッパ	32.7%
北米	39.9%
南米	4.6%
その他市場	3.8%
キャッシュ等	0.9%
合計	100.0%

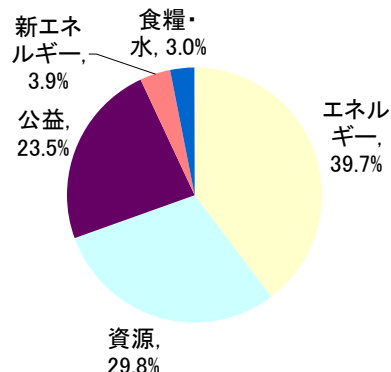
\* マザーファンドの地域別組入比率。  
派生商品による投資も含まれます。

## 通貨別組入比率



\* マザーファンドのうち株式投資総額に対する通貨別組入比率です。

## 業種別組入比率



\* マザーファンドのうち株式投資総額に対する業種別組入比率です。

\* 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

## 7月の株式市場

今月の主要国株式市場は総じて堅調に推移し、多くの市場で終値が前月比でプラス圏となりました。株式市場では、各国主要企業の4-6月期決算が総じて市場予想を上回る好決算となったことなどを手がかりに投資家心理が好転していたことに加え、この2ヶ月余りに亘る調整局面を経て値頃感が出ていたことなどが、買い材料視されました。市場のボラティリティを示すVIX指数(投資家の不安心理を示す指標)は、投資家のリスク選好の回復を映し、前月比29%下げ、25ポイントを下回りました。

国際商品市況は騰勢を強めました。原油価格は+3.2%のバレル78米ドルに、非鉄金属市況は中国人民銀行が景気重視型の金融政策を維持する方針を示し、資源需要減退懸念が薄れたことなどを支援材料に、鉛が+19.2%、亜鉛が+14.2%、銅が+11.3%と、総じて大幅に上昇しました。農産物市況も堅調で、トウモロコシが+16.7%、粗糖が+10.9%、大豆が+8.4%となりました。特に、小麦は主要生産国のロシアが熱波と干ばつの影響で生産見通しを下方修正したことが影響し、+42%と急騰しました。

各指数、価格の騰落率は、原則として作成基準月前月の最終営業日の前日から作成基準月の最終営業日の前日までを計算日としています。原油価格はニューヨーク・マーカンタイル取引所で取引される期近のWTI先物価格、小麦価格はシカゴ商品取引所で取引される期近の先物価格、また非鉄金属価格はロンドン金属取引所で取引される3ヶ月物の価格です。

## 投資戦略及び今後の見通し

今月の基準価額は、為替が主要投資対象通貨に対して引き続き円高方向に振れたものの、資源及び公益セクターのパフォーマンスが相対的に良好であったことなどが寄与し、+7.0%と反発しました。

資源セクターでは、現代製鉄(韓)とメケル(露)が各々+17.8%、+17.7%と急伸しました。現代製鉄は利益見通しを上方修正したこと、メケルは、ブーチン首相が2年前に、同社の経営に不当に介入したことについて公式に謝罪したことなどが買い材料視されました。また、ニッケル価格の上昇が好感されたインターナショナル・ニッケル(インドネシア)も、+10.6%と上昇しました。

公益セクターでは、イベルドロラ(スペイン)、イタリア電力公社(伊)が各々+17.0%、+6.6%と上昇しました。イベルドロラは4-6月期決算の純利益が市場見通しを上回ったこと、イタリア電力公社は、2010年の純利益が当初見通しを上回る可能性が出てきたとする同社CEOの発言が買い手がかりとされました。

また、エネルギーセクターのパフォーマンスも総じて良好でした。これは、BP(英)のメキシコ湾原油流出事故の油井封じ込め作業が進捗していることが好感されたものと見られます。BPは当面のデフォルトリスクが遠のいたとの見方が広がったこともあり、+36.5%と急伸しています。尚、当ファンドは、先月まで外していたBPを、今月、組み入れました。

この他、素材セクターを中心に組み入れ銘柄の変更を行い、アルミナ(豪)、ウジミナス(伯)を外す一方、インターナショナル・ニッケル(インドネシア)、ヴォーストアルピナ(オーストリア)を新たに組み入れました。

世界経済は、新興国に牽引されて中長期的に回復基調が続くと見られ、その結果、資源・エネルギー需要が押し上げられるものと見ています。一方、世界金融危機を挟んで、資源・エネルギー関連設備の多くは老朽化が進み、また中期的には生産能力が不足する事態も懸念されています。このような将来に亘る需給ギャップが、世界の資源・エネルギー関連株の支援材料になるものと見ています。

当ファンドは、引き続き、バリュエーション(株価評価)面から割安感があり、成長モメンタムの高まりが期待される銘柄を中心に運用を行いたいと考えております。

## 設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

## 当ファンドの特色



## 世界各国の資源、エネルギー、食糧等に関連する株式へ投資します

HSBC 世界資源エネルギーマザーファンド(「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じ、主として世界の資源、エネルギー、新エネルギー、公益、食糧等に関連する株式等に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。

新興国市場の有価証券は一般的に先進国の有価証券と比較して値動きが大きいいため、基準価額の値動きも大きくなる傾向があります。



## 運用はシノピア・アセット・マネジメント社が行います

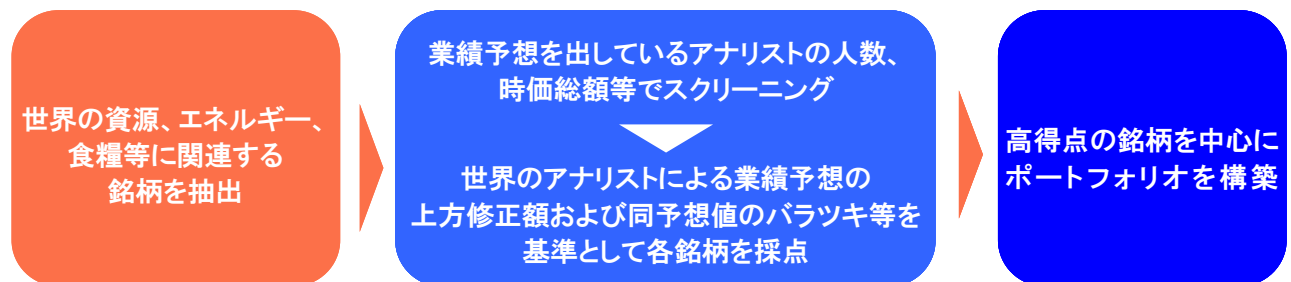
- ▶ 運用委託契約に基づいて、シノピア・アセット・マネジメント社にマザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。
- ▶ シノピア・アセット・マネジメント社は、HSBCグループの一員であり、アクティブ・クオンツの運用を専門に行っています。



## アクティブ・クオンツの手法で運用を行います

企業収益予想をシノピア・アセット・マネジメント社独自の手法により分析し、銘柄毎に点数化を行い相対的な評価が高い銘柄を中心にポートフォリオを構築します。

## マザーファンドの投資プロセス



## 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません

為替レートの変動により基準価額は変動します。投資対象資産の通貨に対し円高になった場合、基準価額が下落する要因となります。



## ファミリーファンド方式で運用

ファミリーファンド方式とは、受益者の投資資金をベビーファンド(当ファンド)としてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用を行う方式です(ベビーファンドがマザーファンドに投資する際のコストはかかりません。)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

## 当ファンドの主なリスク

当ファンドは実質的に外国株式を投資対象としています。当ファンドの基準価額は、実質的な組入株式の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。以下は、当ファンド（マザーファンドを含みます。）に関する投資リスク（基準価額に影響を及ぼすリスク）の一部要約であり、すべてのリスクを網羅するものではありません。当ファンドのリスクの詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

## 1 株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、これが繰り返される傾向にあります。現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。

## 2 信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

## 3 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。

## 4 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。

## 5 カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

当ファンドのお申込みに関しては、上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身でなさいますようお願い申し上げます。

## 留意点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料(販売会社固有情報部分を除きます。当該情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)です。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績を示したものであり将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)は全て投資家の皆様に帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。取得申込に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)を必ずお受け取りの上、内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社 HSBC投信株式会社	投資顧問会社 (運用委託先) シノピア・アセット・マネジメント
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。	委託会社よりマザーファンドの運用指図に関する権限の委託を受けて投資判断、発注を行います。
受託会社 住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	販売会社*
当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。	当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、一部解約金および償還金の支払等を行います。

\* 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求は「をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

## 照会先

HSBC投信株式会社	電話番号 03-3548-5690	ホームページ <a href="http://www.assetmanagement.hsbc.com/jp">www.assetmanagement.hsbc.com/jp</a>
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)		

## お申込みに関する要項

## お申込みメモ

信託期間	無期限(設定日:平成19年3月30日) なお、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等は、信託を終了させる場合があります。
申込単位	販売会社が個別に定める単位とします。 「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。 申込単位、取扱いコースの有無および各コースの名称は販売会社によって異なります。
申込価額	取得申込受付日の翌営業日の基準価額
決算および収益分配	年1回の決算時(毎年3月29日、休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。
解約単位	販売会社が個別に定める単位とします。
解約価額	解約申込受付日の翌営業日の基準価額
解約代金支払日	解約申込受付日から起算して5営業日目以降
課税関係	原則として、収益分配金ならびに、解約時および償還時の譲渡益(法人の場合は異なります。)に対して課税されます。 なお、課税区分は株式投資信託です。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 (税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。)
申込受付不可日	国内の営業日であっても、以下のいずれかに該当する場合には、取得および解約の申込受付は行いません。 パリの銀行休業日/ニューヨーク証券取引所の休業日
申込受付時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。 ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合があります。

## 当ファンドにかかる費用

## 申込時に直接ご負担いただく費用

申込手数料	申込価額に3.675%(税抜3.5%)を上限として、販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額
-------	--

## 換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額	ありません。
換金手数料	ありません。

## 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	純資産総額に対して年1.995%(税抜年1.90%)
その他費用	(1)有価証券売買委託手数料/外貨建資産の保管費用/借入金利息、融資枠設定に要する費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等 (2)投資信託振替制度に係る手数料および費用/法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用/当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用/法定書面の作成、印刷、交付に係る費用/監査報酬および法律顧問、税務顧問に対する報酬および費用等((2)の項目については純資産総額に対し上限年0.2%としてファンドより支払われます。)  (その他費用の上限額については、事後的に発生するものがあるため表記できません。)

※費用総額については、事後的に発生するものがあること、また運用状況等により変動するため表記できません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 設定・運用:HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

## HSBC 世界資源エネルギーオープン

追加型投信/内外/株式

## お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

(商号・金融商品取引業者の登録番号・加入協会の順に表示、証券・銀行・保険毎 五十音順、2010年8月17日現在)

金融商品取引業者名	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
安藤証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第1号	○		○
HSBC証券会社東京支店	○		関東財務局長(金商)第212号	○		○
エース証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第6号	○	○	
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○
岡三オンライン証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第52号	○		○
おきなわ証券株式会社	○		沖縄総合事務局長(金商)第1号	○		
香川証券株式会社	○		四国財務局長(金商)第3号	○		
カブドットコム証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第61号	○		○
極東証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第65号	○		
コスモ証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○
静岡東海証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第8号	○		
株式会社証券ジャパン	○		関東財務局長(金商)第170号	○		
中央証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第114号	○		
中銀証券株式会社	○		中国財務局長(金商)第6号	○		
東武証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第120号	○		
東洋証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第121号	○		
内藤証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第24号	○		○
成瀬証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第127号	○		
新潟証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第128号	○		
日興コーディアル証券株式会社(「投信つみたてプラン」・「投信スーパーセンター」)	○		関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
日産センチュリー証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第131号	○		
のぞみ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第141号	○		
野村証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
ばんせい山丸証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第148号	○		○
フィデリティ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第152号	○		
マネックス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第165号	○		○
丸八証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第20号	○		
丸福証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第169号	○		
むさし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第105号	○		○
明和証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第185号	○		
山形証券株式会社	○		東北財務局長(金商)第3号	○		
山和証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第190号	○		
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○		○
リテラ・クリア証券株式会社(インターネットのみ)	○		関東財務局長(金商)第199号	○		○
株式会社イオン銀行(インターネットのみ)		○	関東財務局長(登金)第633号	○		
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)		○	関東財務局長(登金)第622号	○		
株式会社ジャパンネット銀行(インターネットのみ)		○	関東財務局長(登金)第624号	○		○
株式会社但馬銀行		○	近畿財務局長(登金)第14号	○		
株式会社筑波銀行		○	関東財務局長(登金)第44号	○		
株式会社広島銀行		○	中国財務局長(登金)第5号	○		○

\*現在、野村証券株式会社では新規のお取扱いをしておりません。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

